

[illegible]

忠清南道内務部長 松本誠氏

[illegible]

今後市民の主目を要

[illegible]

十一年度に着手す

電話の拂底不便もところ所

[illegible]

の異議を會得しない者は

經濟界の急激な振舞ひの有様を、速に公衆に知らせるは、新聞記者の義務である。此の如く見れば、新聞記者の職務は、實に、世の進歩の爲め、最も重要なものである。此の如く見れば、新聞記者の職務は、實に、世の進歩の爲め、最も重要なものである。

しは

[illegible]

王夫之

[illegible]

宋之二十五年

[illegible]

無理な結婚

[illegible]

握り、影の技巧と相俟

[illegible]

柳原白 老松が枯れると 前光伯の發狂

と家爵伯原柳
譚日後進白
常主の寵愛を受けた
乳母お留の陰謀

老松が枯れると、前光伯の發狂。常主の寵愛を受けた乳母お留の陰謀。柳原白の物語。老松が枯れると、前光伯の發狂。常主の寵愛を受けた乳母お留の陰謀。柳原白の物語。



賓國たれま圍に聲歡

純な巴里型の
元帥夫人と語る
日本婦人の着物を激賞

日本婦人の着物を激賞。元帥夫人と語る。純な巴里型の。日本婦人の着物を激賞。元帥夫人と語る。純な巴里型の。

男不足で結婚できぬ
一千萬の婦人

婦人過剰に悩む歐洲諸國
大戦亂が生んだ社會現象

男不足で結婚できぬ。一千萬の婦人。婦人過剰に悩む歐洲諸國。大戦亂が生んだ社會現象。

一圓の煙草が
百圓になる

朝鮮總督府
立木入札拂下

一圓の煙草が。百圓になる。朝鮮總督府。立木入札拂下。

鼻が高くなる
隆鼻器無料贈

鼻が高くなる。隆鼻器無料贈。鼻が高くなる。隆鼻器無料贈。

石龍師觀相
旭町廿八日
不知火旅館

石龍師觀相。旭町廿八日。不知火旅館。石龍師觀相。旭町廿八日。不知火旅館。

新債券
責任製劑
りん病二

新債券。責任製劑。りん病二。新債券。責任製劑。りん病二。

木炭相場廣告
一金壹圓
四十錢也

木炭相場廣告。一金壹圓。四十錢也。木炭相場廣告。一金壹圓。四十錢也。

鎮咳祛痰劑
プロン

鎮咳祛痰劑。プロン。鎮咳祛痰劑。プロン。

京城薪炭商組合
無病長壽藥

京城薪炭商組合。無病長壽藥。京城薪炭商組合。無病長壽藥。

婦人と家庭

袋叩きにされる子供
忽かに出来ぬ子供の暗暁

袋叩きにされる子供。忽かに出来ぬ子供の暗暁。袋叩きにされる子供。忽かに出来ぬ子供の暗暁。

和調
人事相談所

和調。人事相談所。和調。人事相談所。

鮮人鐵道自殺
鮮人鐵道自殺

鮮人鐵道自殺。鮮人鐵道自殺。鮮人鐵道自殺。

鮮女教育に
鮮女教育に

鮮女教育に。鮮女教育に。鮮女教育に。

鮮女教育に
鮮女教育に

鮮女教育に。鮮女教育に。鮮女教育に。

鮮女教育に
鮮女教育に

鮮女教育に。鮮女教育に。鮮女教育に。

鮮女教育に
鮮女教育に

鮮女教育に。鮮女教育に。鮮女教育に。

鮮女教育に
鮮女教育に

鮮女教育に。鮮女教育に。鮮女教育に。

鮮女教育に
鮮女教育に

鮮女教育に。鮮女教育に。鮮女教育に。

殊特部落民に對する 差別撤廢の叫び

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。殊特部落民に對する。差別撤廢の叫び。

さいます。オ、一晩泊つて遣はさう
亭ね、う存じます……コレヨ、蘭

り嫁はしますか。大乃公が、乃公は
今御二十歳だ、階層修習をいたし
て居るが、乃公に勝つ嫁は人も
い、何処で逢ひてもボクへ嫁飛
ばして嫁ふのだ。古今の金銀財宝と云
ふ嫁の親類は皆大なる罪人なりと云
へは三歳の兄も知り、泣きうそ泣
ける位だ。件へ成婚。然らば

江原殿はけけけ窮乏な存子一萬
石に振るは破つて居る。弊うなつ
た故に五石俵屋に遣らるゝ今日
改め太夫殿階層の幸にぞ
右様なき馬鹿に居る時は
い、左様への姫く、此處に理
を云つた嫁が始まらない思ふか
件左様でございますか。然らば
疵に上れば既に結構でござさす
ます。大まき少々やうだが此
様の寂しい嫁にやうな方が許

臣「へお出でなりましたしな、大々
 お江戸へも参らる。件「不届
 殿様殿作の小左衛門御儀、御法衣と
 成願なりまし。大蔵源兵衛は知
 織袴に、其那小右武藏守芳吉は知
 らぬ」チユウ。殿此郎は侍候様
 まつた。武藏守とて當時天下の
 藩に大蔵源兵衛馳名なり。第何
 ない。殿知らず通説なり。然らば
 山三郎一徹様は御存知なり。
 つまいますか。大蔵様も知る
 件「ええ。隨園奉行中解が師
 白く承るとございました。か
 の面白ひ噂ばかりだ。遠州秘藏
 せん。件「貴方五郎、万歳と誂能を
 可也。丁度木曾殿、留の入口まで来る
 薩山の徳松公卿で居る。甲「乙「手
 は二州赤太殿でございませう。
 うぞお喜びなせ。乙「エ、手
 は江戸江島探偵部でございます。研
 を今晩はお召し下さいませ。御
 にお預け時し上ります。丙「エ、手
 は和泉屋利兵衛でございます。
 第五郎。件「イイ、お前も聴
 いて知つて居るだらうが、斯う
 罷能なんぞの申付置へは流ら
 げ可い。裏面では番帳を云ふ
 件「ハ、御存じやない。御の
 見す。件「ハイ、宿の怪襲まで
 といひ

物理療法

「審判の方には聴能代理部へ」
施術は毎日五時迄
エワチカレントヂアテルミー
は聴能より別物です
▲ケイ、エス式(エワチカレント)
ラヂアテルミー等十種の物理療法

が出來ます、近時歐米では盛ん
に究用されて居りまして其の
腫瘍に對しては技術と相俟つて
くべき効力を表はします。

▲るいれき腫脹は切らずに全治します。

固な皮膚病も大底癒ります。

課題 川柳募集

溷者 井上鏡花坊先生

賞金 天位壹圓

締切 二月二十五日

注意 各題別紙五句以内、用

葉書 名宛京城日報社文藝部

 ▲館南浦防本工事
 随して何だか迷な
 がある候旨建築士
 と三所同様にやうの

のか感有して云々と思に計外なく
しくない宛然百鬼夜行の態だとは
聞の事かチ(一土工)▲素砂北原は
答ふ、内地人向組織物は京城黄金
四鐵物共同月脚鐵總會へ直接聞き
せて御覧なさい(笑木生)▲犬の聲

は無料で見せて上げます（電話二一
七番）▲醋子へ水銀を煮つて鏡を
る方法を教へられたし（研究女）▲
日本館に水漬入夫の意図云々を告
れてあつたが意圖くらゐならまな

ならない。水消^みぬ^く量^{りょう}込^こ込^こに際して
水土管を叩き破つておいて其儘
ぬすんで埋て終つた事實もある。
を目撃した小生から人夫監督に
道標にも注意を與へて置いたに

らず此態だから呆れて終ふお蔭
水は彼中用を爲さず致し方なく
で修繕した少しは水溜隙でも反
て敷きたい(一彼等者)▲千福持
一人です子供の娯樂の爲め小東
ルモツト」一龍神宿したいと思

つゝありや否や(お尋ね生)▲
お尋ねする東京エスエーレント
會社の脱任名義調査録を

道研究所及賤教援所は京城は
にありませうか(みさ子)

二月二十四
（昭和正月二十八）
▲金曜日▲癸亥
▲唱方▲佛滅
宿收

▲三鼎 ▲退歩を意味する日に一
快がちに終る諸事慘目にするが
▲四線 ▲迷惑な事持込まれて何
を折る日恨み深く諸事を守つて
▲五寶 ▲意外な方配より頼みの
手堅く進む事

▲六白▲足許の猛ふ事ある日何
特に輕平を戒む大事は翌日廻上
▲七赤▲入代り立代り境客の來
急げば急ぐ程大賊れを來す失
▲八白▲争ひ事の渦中に投じて


歩へ
六八
四五
銀
同金

▲九紫△溫柔にして立身出世の
を得る日趨榮求職旅行婚配金
▲一白△暴やかにして成功の日
の行動に出で、益々有利持人
▲二黒△物産に精奮を多くし

とてアに於ける際際際際非唯

星印ソーダス

本場産
歸朝者なら在
外黨請を倒ふ
べく人なら
故國の懐ふべ
く我々なら
眞に正しく洋
食の味に導
かるべきソー
スイ向又の
尖に肉塊生き
厚丁の焼片片
饅頭開る風味あ
り：試み給へば



此酒は、
上等な材料で造られ、
味も香気もある。
健康にもよく、
男女老若誰でも飲める。

大日本製薬株式会社
京都府京都市下京区
紫陽閣商店

星印スー



A black and white line drawing of a man in a suit sitting at a table. He is holding a glass and drinking from a bottle. On the table, there is a bottle and a glass. The man is looking down at his glass.

本場産
 歸朝者なら在
 外電燈を点べ
 べく外人なら
 故國の懐ふべ
 く、我々なら
 眞に正しく洋
 食の玩味に導
 かるべきワ
 スー 肉又の
 尖に内塊生き
 麴下の端に片
 鱈隨る風味あ
 り。試み給へ

[illegible][illegible]

農用原動力... 舶來品以上の出現

神村式電氣發火小型石油發動機

本機は農具として精米水田灌
 漑細工の運轉に缺く可からざる一般
 農具の運轉に缺く可からざる一般
 輕便原動機にして重量又輕く場
 所移動容易なる機械絕對に磨耗
 せぬ特色ありを以て不意に運轉
 の止ぬ如き恐れなく永久使用に
 耐ゆる舶來品運轉の爲め今尚破格
 直段にて提供す

●有望の特約店を契約す



製造發賣元
 精米加機油專門製作
 東京芝浦二丁目三ノ

神村工場
 電話三九二番
 二九二番

自願に於て本手困難の方は如何程重
 負難病者立し人中人中又第百回重
 し與い人か人か人か人か人か人か
 何人か人か人か人か人か人か人か
 兵庫縣明和町中町 大谷堂製鐵所

せきすい
 模
 ゴム靴



大阪市北區南濱町
 共益社
 電話長北 一六四〇番
 振替大 四三八七番

[illegible]

お化粧の順序

お化粧は クブラ白粉

ツキの良い
ノビの良い
ツヤの良い
クブラ白粉



顔のアレね
カテイ石鹼

一番よくきくアレ止
クブラ美身クリーム

生地の美を
増す有名な
クブラ洗粉

クブラ白粉をお用ひになれば貴女のお顔はますます美しくなります

美人

お化粧の順序

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

ツギ

等より金及銀を購する
金の運用上には銀行が中心に各
行を以て連へらるゝのみならず

床次内相
 藤原朝臣と
 なるや否や

大 阪 株 式

柳澤休惠伯
第一、に於いてすべしと云へ

床火内相
一箇の燈を好むなりと云ふは、
其の如く、
柳澤休惠伯

况

【廿二日】

○廿二日前暮
寄付三、四〇
止宿三、二七
高直三、四九
二十一

大なる點に感ずる矢口長右衛門氏、本報の「貴に附けり」旨を宣し三

掘み 株式失権公告
 來種 左記當會社株式ハ第三回株金拂込ナ
 鉦安 キ爲メ失權トナリタリ
 古屋市中
 廣、ろ四
 葉夷澤十

一、監獄の爲め、神聖に米國に於ては俗の法律でせな。又五は三に對して太平洋行の船を或して由て四の管理と品兩國の手を握れな。然るに三は二に對して田舎同盟の旗の代りに四兩國を束せしめ之に參加するは用意ある條に於てのみである。其中の一は二に對して三に對する條に於てのみである。

一、（一） 府知事のとなれば結構である。更に
 二、（二） 本國支那國民と同盟を結ばし日本國民と本國に對
 三、（三） 策を約したものである。から露支兩國民が之を考る

▽一冊あれば何でも分る
辞典 日用文庫 提供
●全書日本の大衆文庫 男男女女に必要の大衆文庫
●全書日本の大衆文庫 男男女女に必要の大衆文庫
●全書日本の大衆文庫 男男女女に必要の大衆文庫



世間の法移
●出世の心得 ●和洋の心得
●出世の心得 ●和洋の心得
●出世の心得 ●和洋の心得

珠算新式速算法



普通計算より教十倍早い
●普通計算より教十倍早い
●普通計算より教十倍早い

女美文集

●女美文集
●女美文集
●女美文集

男美文集

●男美文集
●男美文集
●男美文集

事務員養成

●事務員養成
●事務員養成
●事務員養成

重丸

●重丸
●重丸
●重丸



丹 念 健 丸

軽い中に
御油断なく
服みよくて
スグキク
他に類なき
を服用あれ

赤玉ポートワイン

厳肅なる

科学に立脚し 貴重なる機能的経験
●科学に立脚し 貴重なる機能的経験
●科学に立脚し 貴重なる機能的経験



資本金 参千萬圓
●資本金 参千萬圓
●資本金 参千萬圓

威權の界斯
●威權の界斯
●威權の界斯

最新流行總ゴムゲートル
●最新流行總ゴムゲートル
●最新流行總ゴムゲートル

療酸素
●療酸素
●療酸素

水香厚濃の倍十
●水香厚濃の倍十
●水香厚濃の倍十

天らぶ天
●天らぶ天
●天らぶ天